

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	東九州自動車道 志布志～末吉財部
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.2 (経済的純現在価値 (B-C) = 417億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.0%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 3.4 (経済的純現在価値 (B-C) = 632億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 21%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b(当該区間/並行区間)について：国道220号(志布志市志布志町～鹿屋市札元) 並行区間等の渋滞損失時間：75.1万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率：約5割削減
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	鹿屋市⇒鹿児島空港(第二種空港) [全事業] 約16分短縮 [整備前約92分⇒整備後約76分]：東九州自動車道(鹿屋申良JCT～末吉財部IC)
物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	鹿屋市⇒志布志港(重要港湾) [全事業・残事業] 約17分短縮 [整備前約52分⇒整備後約35分]：東九州自動車道(志布志IC～鹿屋申良JCT)	
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	志布志港から畜産地帯への配合飼料の運搬を支援 志布志港⇒鹿屋申良JCT [全事業・残事業] 約21分短縮 [整備前約39分⇒整備後約18分]：東九州自動車道(志布志IC～鹿屋申良JCT) 北薩地域から志布志港への木材の運搬を支援 国分IC⇒志布志港 [全事業] 約12分短縮 [整備前約70分⇒整備後約58分]：東九州自動車道(志布志IC～末吉財部IC)	
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	鹿屋市⇒鹿児島市 [全事業] 約16分短縮 [整備前約121分⇒整備後約105分] : 東九州自動車道 (鹿屋串良JCT～末吉財部IC)
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	個性ある地域の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	鹿屋市⇒鹿児島市 (地方生活圏中心都市) [全事業] 約16分短縮 [整備前約121分⇒整備後約105分] : 東九州自動車道 (鹿屋串良JCT～末吉財部IC)
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	かのやばら園 (鹿屋市) へのアクセス向上が期待される (鹿児島空港⇒かのやばら園) [全事業] 約15分短縮 [整備前約105分⇒整備後約90分] : 東九州自動車道 (鹿屋串良JCT～末吉財部IC)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	安全で安心できる暮らしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/徳台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線 (以下「緊急輸送道路」という) として位置づけあり	鹿児島緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある。(高規格幹線道路 (第一次))
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路: 国道220号 (第一次緊急輸送道路)、代替する区間: 志布志市～霧島市
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消する	事前通行規制区間: 国道220号 (垂水市牛根境)
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 13,173 t-CO2/年 (残事業) 61,582 t-CO2/年 (全事業)
生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率		評価対象区間(現道): 国道220号(志布志市志布志町～鹿屋市礼元)、国道269号(鹿屋市北田町～都城市五十町)、国道504号(鹿屋市北田町～霧島市福山町)、(主)志布志福山線(志布志市志布志町～霧島市福山町) 排出削減量: 34 t-NOx/年、排出削減率: 約4割削減 (残事業) 排出削減量: 159 t-NOx/年、排出削減率: 約5割削減 (全事業)
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率		評価対象区間(現道): 国道220号(志布志市志布志町～鹿屋市礼元)、国道269号(鹿屋市北田町～都城市五十町)、国道504号(鹿屋市北田町～霧島市福山町)、(主)志布志福山線(志布志市志布志町～霧島市福山町) 排出削減量: 1.9 t-SPM/年、排出削減率: 約4割削減 (残事業) 排出削減量: 9.1 t-SPM/年、排出削減率: 約5割削減 (全事業)
	<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある		
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
東九州自動車道	志布志～末吉財部	48.0km	高規格 (新直轄)	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,500～17,600	2	九州地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	2019年度（令和元年度）		
単純合計	1,584億円	342億円	1,925億円
うち残事業分	205億円	162億円	367億円
基準年における 現在価値（C）	2,097億円	189億円	2,285億円
うち残事業分	197億円	67億円	264億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	2019年度（令和元年度）			
供用年	平成22年度, 平成27年度, 2021年度（令和3年度）			
単年便益 (初年便益)	25億円	2.2億円	0.62億円	28億円
基準年における 現在価値（B）	2,338億円	250億円	113億円	2,702億円
うち残事業分	801億円	67億円	28億円	896億円

### ③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	417 億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.0%
費用便益比（残事業）	3.4
経済的純現在価値（残事業）	632 億円
経済的内部収益率（残事業）	21%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

#### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	7,500~17,600	±10%	1.1~1.3
事業費	1,584億円	±10%	1.2~1.2
事業期間	29年間	±20%	1.1~1.2

#### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	7,500~11,200	±10%	3.1~3.7
事業費	205億円	±10%	3.2~3.7
事業期間	2年間	±20%	3.3~3.4

## 交通状況の変化

様式-3①

### 事業名：東九州自動車道 志布志～末吉財部

(推計時点 2030年(R12年)) (事業全体)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [東九州道(志布志～末吉財部) 未供用区間] : 19.2km	交通量	[台/日]	0.00	10,000	
	走行時間	[分]	0.00	14	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	27.38	
①新設・改築道路 [東九州道(志布志～末吉財部) 供用区間] : 28.8km	交通量	[台/日]	0.00	17,300	
	走行時間	[分]	0.00	23	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	77.77	
②主な周辺道路	国道220号 : 89.6km	交通量	[台/日]	11,600	9,500
		走行時間	[分]	121	118
		走行時間費用	[億円/年]	267.55	206.39
	国道269号 : 42.6km	交通量	[台/日]	7,700	4,500
		走行時間	[分]	61	61
		走行時間費用	[億円/年]	86.32	52.21
	国道504号 : 39.8km	交通量	[台/日]	8,300	2,900
		走行時間	[分]	59	58
		走行時間費用	[億円/年]	96.57	31.03
	(主)志布志福山線 : 36.2km	交通量	[台/日]	5,400	4,100
		走行時間	[分]	53	52
		走行時間費用	[億円/年]	55.73	42.79
	(一)志布志有明線 : 12.8km	交通量	[台/日]	6,600	5,400
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	28.62	23.63
	都城志布志道路 : 30.0km	交通量	[台/日]	17,200	15,100
		走行時間	[分]	29	28
		走行時間費用	[億円/年]	95.79	80.94
③その他道路合計 : 1,836.6km	走行時間費用	[億円/年]	2,313.98	2,299.50	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2,135.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,944.55	2,841.64	102.91

事業名：東九州自動車道 志布志～末吉財部



交通状況の変化

様式-3①

事業名：東九州自動車道 志布志～末吉財部

(推計時点 2030年 (R12年)) (残事業)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [東九州道(志布志～末吉財部) 未供用区間] : 19.2km	交通量	[台/日]	0.00	10,000	
	走行時間	[分]	0.00	14	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	27.38	
①新設・改築道路 [東九州道(志布志～末吉財部) 供用区間] : 28.8km	交通量	[台/日]	17,300	17,300	
	走行時間	[分]	23	23	
	走行時間費用	[億円/年]	78.44	77.77	
②主な周辺道路	国道220号 : 30.0km	交通量	[台/日]	14,300	10,600
		走行時間	[分]	51	47
		走行時間費用	[億円/年]	139.45	96.36
	国道269号 : 16.2km	交通量	[台/日]	2,300	2,000
		走行時間	[分]	22	22
		走行時間費用	[億円/年]	9.40	8.16
	(主) 志布志福山線 : 26.8km	交通量	[台/日]	6,800	6,100
		走行時間	[分]	36	36
		走行時間費用	[億円/年]	50.23	44.15
	(一) 志布志有明線 : 10.6km	交通量	[台/日]	5,400	3,800
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	19.23	13.10
	(主) 東原大崎線 : 6.1km	交通量	[台/日]	2,300	1,200
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	4.54	2.46
	(一) 黒石串良線 : 18.5km	交通量	[台/日]	3,300	2,900
		走行時間	[分]	32	31
		走行時間費用	[億円/年]	19.05	16.05
③その他道路合計 : 1,979.3km	走行時間費用	[億円/年]	2,563.99	2,556.21	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2,135.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,884.34	2,841.64	42.70

事業名：東九州自動車道 志布志～末吉財部





## 費用便益分析の条件

事業名:東九州自動車道 志布志～末吉財部

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	2019年(令和元年)
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H22、R12)
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 ( ) % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 ( ) 日 採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 ( ) 日 採用した冬期日数の考え方を記載	
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:東九州自動車道 志布志～末吉財部

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■	
		標準投資パターンを採用	□	
		その他( )	□	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間: H28～H30)に基づく		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	□
			維持管理費を考慮	□
	その他			
4. その他				

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 東九州自動車道 志布志～末吉財部(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.18	48.0	8.60	
年次	年度	割戻率	GDP テラレタ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-17年目	H 5	2.7725	117.9	0.00	0.01		
-16年目	H 6	2.6658	117.8	0.14	0.33		
-15年目	H 7	2.5633	117.1	0.47	1.06		
-14年目	H 8	2.4647	116.6	0.68	1.49		
-13年目	H 9	2.3699	117.5	2.19	4.54		
-12年目	H 10	2.2788	116.9	7.80	15.66		
-11年目	H 11	2.1911	115.2	9.23	18.08		
-10年目	H 12	2.1068	113.8	7.37	14.05		
-9年目	H 13	2.0258	112.4	11.21	20.80		
-8年目	H 14	1.9479	110.5	7.96	14.45		
-7年目	H 15	1.8730	109.0	22.46	39.75		
-6年目	H 16	1.8009	107.9	25.57	43.96		
-5年目	H 17	1.7317	106.7	56.77	94.91		
-4年目	H 18	1.6651	105.9	101.70	164.70		
-3年目	H 19	1.6010	105.0	105.52	165.72		
-2年目	H 20	1.5395	104.4	110.99	168.57		
-1年目	H 21	1.4802	103.0	111.56	165.13		
部分供用	H 22	1.4233	101.3	70.70	102.31	1.79	2.59
1年目	H 23	1.3686	99.8	64.56	91.20	1.79	2.52
2年目	H 24	1.3159	99.0	119.06	163.00	1.79	2.45
3年目	H 25	1.2653	99.0	74.35	97.88	1.79	2.35
4年目	H 26	1.2167	101.5	107.65	132.91	1.79	2.21
部分供用(5年目)	H 27	1.1699	103.0	69.90	81.78	4.57	5.35
6年目	H 28	1.1249	102.8	71.11	80.14	4.57	5.16
7年目	H 29	1.0816	103.0	80.82	87.42	4.57	4.95
8年目	H 30	1.0400	103.0	68.97	71.72	4.57	4.76
9年目	R 1	1.0000	103.0	69.53	69.53	4.57	4.57
10年目	R 2	0.9615	103.0	183.04	175.99	4.57	4.40
供用開始(11年目)	R 3	0.9246	103.0	22.31	20.63	7.82	7.23
12年目	R 4	0.8890	103.0			7.82	6.96
13年目	R 5	0.8548	103.0			7.82	6.69
14年目	R 6	0.8219	103.0			7.82	6.43
15年目	R 7	0.7903	103.0			7.82	6.18
16年目	R 8	0.7599	103.0			7.82	5.95
17年目	R 9	0.7307	103.0			7.82	5.72
18年目	R 10	0.7026	103.0			7.82	5.50
19年目	R 11	0.6756	103.0			7.82	5.29
20年目	R 12	0.6496	103.0			7.82	5.08
21年目	R 13	0.6246	103.0			7.82	4.89
22年目	R 14	0.6006	103.0			7.82	4.70
23年目	R 15	0.5775	103.0			7.82	4.52
24年目	R 16	0.5553	103.0			7.82	4.34
25年目	R 17	0.5339	103.0			7.82	4.18
26年目	R 18	0.5134	103.0			7.82	4.02
27年目	R 19	0.4936	103.0			7.82	3.86
28年目	R 20	0.4746	103.0			7.82	3.71
29年目	R 21	0.4564	103.0			7.82	3.57
30年目	R 22	0.4388	103.0			7.82	3.43
31年目	R 23	0.4220	103.0			7.82	3.30
32年目	R 24	0.4057	103.0			7.82	3.17
33年目	R 25	0.3901	103.0			7.82	3.05
34年目	R 26	0.3751	103.0			7.82	2.93
35年目	R 27	0.3607	103.0			7.82	2.82
36年目	R 28	0.3468	103.0			7.82	2.71
37年目	R 29	0.3335	103.0			7.82	2.61
38年目	R 30	0.3207	103.0			7.82	2.51
39年目	R 31	0.3083	103.0			7.82	2.41
40年目	R 32	0.2965	103.0			7.82	2.32
41年目	R 33	0.2851	103.0			7.82	2.23
42年目	R 34	0.2741	103.0			7.82	2.14
43年目	R 35	0.2636	103.0			7.82	2.06
44年目	R 36	0.2534	103.0			7.82	1.98
45年目	R 37	0.2437	103.0			7.82	1.91
46年目	R 38	0.2343	103.0			7.82	1.83
47年目	R 39	0.2253	103.0			7.82	1.76
48年目	R 40	0.2166	103.0			7.82	1.69
49年目	R 41	0.2083	103.0	-53.26	-11.09	7.82	1.63
合計				1530.34	2096.63	341.52	188.62
単純事業費計				1583.60		341.52	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

					維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)		
箇所名: 東九州自動車道 志布志～末吉財部(残事業)					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.19	19.2	3.56
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-1年目	R 2	0.9615	103.0	183.04	175.99		
供用開始年次	R 3	0.9246	103.0	22.31	20.63	3.24	3.00
1年目	R 4	0.8890	103.0			3.24	2.88
2年目	R 5	0.8548	103.0			3.24	2.77
3年目	R 6	0.8219	103.0			3.24	2.66
4年目	R 7	0.7903	103.0			3.24	2.56
5年目	R 8	0.7599	103.0			3.24	2.46
6年目	R 9	0.7307	103.0			3.24	2.37
7年目	R 10	0.7026	103.0			3.24	2.28
8年目	R 11	0.6756	103.0			3.24	2.19
9年目	R 12	0.6496	103.0			3.24	2.11
10年目	R 13	0.6246	103.0			3.24	2.02
11年目	R 14	0.6006	103.0			3.24	1.95
12年目	R 15	0.5775	103.0			3.24	1.87
13年目	R 16	0.5553	103.0			3.24	1.80
14年目	R 17	0.5339	103.0			3.24	1.73
15年目	R 18	0.5134	103.0			3.24	1.66
16年目	R 19	0.4936	103.0			3.24	1.60
17年目	R 20	0.4746	103.0			3.24	1.54
18年目	R 21	0.4564	103.0			3.24	1.48
19年目	R 22	0.4388	103.0			3.24	1.42
20年目	R 23	0.4220	103.0			3.24	1.37
21年目	R 24	0.4057	103.0			3.24	1.31
22年目	R 25	0.3901	103.0			3.24	1.26
23年目	R 26	0.3751	103.0			3.24	1.22
24年目	R 27	0.3607	103.0			3.24	1.17
25年目	R 28	0.3468	103.0			3.24	1.12
26年目	R 29	0.3335	103.0			3.24	1.08
27年目	R 30	0.3207	103.0			3.24	1.04
28年目	R 31	0.3083	103.0			3.24	1.00
29年目	R 32	0.2965	103.0			3.24	0.96
30年目	R 33	0.2851	103.0			3.24	0.92
31年目	R 34	0.2741	103.0			3.24	0.89
32年目	R 35	0.2636	103.0			3.24	0.85
33年目	R 36	0.2534	103.0			3.24	0.82
34年目	R 37	0.2437	103.0			3.24	0.79
35年目	R 38	0.2343	103.0			3.24	0.76
36年目	R 39	0.2253	103.0			3.24	0.73
37年目	R 40	0.2166	103.0			3.24	0.70
38年目	R 41	0.2083	103.0			3.24	0.68
39年目	R 42	0.2003	103.0			3.24	0.65
40年目	R 43	0.1926	103.0			3.24	0.62
41年目	R 44	0.1852	103.0			3.24	0.60
42年目	R 45	0.1780	103.0			3.24	0.58
43年目	R 46	0.1712	103.0			3.24	0.55
44年目	R 47	0.1646	103.0			3.24	0.53
45年目	R 48	0.1583	103.0			3.24	0.51
46年目	R 49	0.1522	103.0			3.24	0.49
47年目	R 50	0.1463	103.0			3.24	0.47
48年目	R 51	0.1407	103.0			3.24	0.46
49年目	R 52	0.1353	103.0			3.24	0.44
合計				205.35	196.62	162.04	66.92
単純事業費計				205.35		162.04	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





# 全体事業費内訳

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
東九州自動車道	志布志～末吉財部	2	48.0km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					137,807		
改良費					84,392		
土工			m <sup>3</sup>	26,475,282	26,997	切土(11,854,787m <sup>3</sup> )、盛土(14,620,495m <sup>3</sup> )	
軟弱地盤改良工			m <sup>3</sup>	1,115,986	14,030		
法面工			m <sup>2</sup>	3,721,232	9,451	切土法面、盛土法面	
擁壁工			式	1	4,926	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等	
管渠工			m	58,960	1,507		
函渠工			m	4,647	4,559		
排水工			m	237,612	6,031		
中央分離帯工			m	49,268	2,695		
雑工			式	1	14,196		
橋梁費					37,554		
100m以上			m	5,002	28,619	PC橋17橋、鋼橋3橋	
100m未満			m	3,159	8,935	PC橋71橋、鋼橋2橋	
トンネル費							
NATM			m				
シールド			m				
IC・JCT費					2,660		
IC			箇所	4	2,074	志布志IC(仮)、大崎IC(仮)、曾於弥五郎IC、末吉財部IC	
JCT			箇所	1	586	鹿屋串良JCT	
舗装費					7,960		
車道舗装			m <sup>2</sup>	646,235	7,915		
歩道舗装			m <sup>2</sup>	2,082	45		
付帯施設費					5,241		
交通管理施設工			式	1	5,241	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁			m				
②用地及補償費					12,226		
用地費			m <sup>2</sup>	2,749,249	5,326		
宅地			m <sup>2</sup>	83,701	603		
田畑			m <sup>2</sup>	1,104,227	3,199		
山林・原野			m <sup>2</sup>	1,527,072	1,480		
その他			m <sup>2</sup>	34,249	44		
補償費			式	1	6,900		
③間接経費				式	1	17,567	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					167,600		



# 残事業費内訳

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
東九州自動車道	志布志～末吉財部	2	19.2km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					21,582		
改良費					16,009		
土工			m <sup>3</sup>	1,299,000	3,352	切土(746,000m <sup>3</sup> )、盛土(553,000m <sup>3</sup> )	
軟弱地盤改良工			m <sup>3</sup>	210,342	5,310		
法面工			m <sup>2</sup>	310,739	1,078	切土法面、盛土法面	
擁壁工			式	1	3,165	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等	
管渠工			m	9,568	516		
函渠工			m				
排水工			m	46,071	945		
中央分離帯工			m	14,042	1,092		
雑工			式	1	551		
橋梁費							
100m以上			m				
100m未満			m				
トンネル費							
NATM			m				
シールド			m				
IC・JCT費					509		
IC			箇所	2	509		
JCT			箇所				
舗装費					3,570		
車道舗装			m <sup>2</sup>	271,626	3,569		
歩道舗装			m <sup>2</sup>	273	1		
付帯施設費					1,494		
交通管理施設工			式	1	1,494	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁			m				
②用地及補償費					65		
用地費			m <sup>2</sup>				
宅地			m <sup>2</sup>				
田畑			m <sup>2</sup>				
山林・原野			m <sup>2</sup>				
その他			m <sup>2</sup>				
補償費			式	1	65		
③間接経費				式	1	807	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					22,454		

## 全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
東九州自動車道	志布志～末吉財部	2	48.0km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	48.0	6,916	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	30,576	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			37,491	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

## 残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
東九州自動車道	志布志～末吉財部	2	19.2km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	19.2	3,168	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	14,656	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			17,824	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

参考様式3

項目	前回評価 R1年度				今回評価 R1年度				主な変動要因 (現在価値)
事業概要	延長48.0km 車線数2車線				延長48.0km 車線数2車線				
事業費	1,605億円				1,685億円				補強土壁の追加 路床土の地盤改良の追加 ICT施工の計上
事業全体	B/C	1.2			B/C	1.2			
	B 便 益	2,702億円	走行時間 短縮便益	2,338億円	B 便 益	2,702億円	走行時間 短縮便益	2,338億円	
			走行経費 減少便益	250億円			走行経費 減少便益	250億円	
			交通事故 減少便益	113億円			交通事故 減少便益	113億円	
	C 費 用	2,216億円	事業費	2,027億円	C 費 用	2,285億円	事業費	2,097億円	・事業費の変更
			維持管理費	189億円			維持管理費	189億円	
残事業	B/C	4.6			B/C	3.4			
	B 便 益	896億円	走行時間 短縮便益	801億円	B 便 益	896億円	走行時間 短縮便益	801億円	
			走行経費 減少便益	67億円			走行経費 減少便益	67億円	
			交通事故 減少便益	28億円			交通事故 減少便益	28億円	
	C 費 用	194億円	事業費	127億円	C 費 用	264億円	事業費	197億円	・事業費の変更
			維持管理費	67億円			維持管理費	67億円	

※事業費は、追加ICT整備の県・市負担費用（9億円）を含む費用で算出。